

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第37回	令和6年度	文学賞	小説	あなたがどこで煮ても好き	長谷川 彩香
			児童文学	おじいちゃん。ボク、友だちが出来たよ	高橋 めぐる
			詩	いつか小学生だったあなたへ	橋本 恵実
			短歌	火を渡す	愛川 弘文
			俳句	古牟呂	吉村 さよ子
		佳作	小説	大嫌いな父は、余命二ヶ月	牧野 華子
				マトリヨーシカ	橋本 恵実
			児童文学	将棋村の決戦	福田 大助
				トキノカケラ工房	紫葉 柚月
			詩	わたし いい子	アラキ 歩
第36回	令和5年度	文学賞		風	浅田 らんこ
			短歌	おばあちゃん	佐藤 陽子
				釈迦の末裔	藤本 典裕
			俳句	ふなばし、美はし	幸龍
				水の記憶	小泉 羊丸
		佳作	小説	ムギと俺の日曜日	紫葉 柚月
			児童文学	勇者タケさん	こばやし まきこ
			詩	うさぎ・悲しみ	松波 直子
			短歌	行々林週報	山口 正明
			俳句	該当なし	
第35回	令和4年度	文学賞	小説	吳汁とチャイナドレス	田畠 稔
				愛しの人魚姫	米川 ちゅちゅ
			児童文学	数のないせかい	まちの まいこ
				水たまりの向こう	九重 月子
			詩	孤独を楽しむ	池田 久雄
		佳作		陽だまり	海野 舞羽
			短歌	黄金比	富岡 勝
				飯山満暮らし	石澤 廣太
			俳句	少年	清水 陽子
				跳躍す	樽谷 幸龍
第34回	令和3年度	文学賞		夏好み	北川 京史
			小説	未来への滑走路	青山 祐一郎
			児童文学	上大岡ユミの純情	原 さわ
			詩	眼差し・突っ端	原 詩夏至
			短歌	アルマジロの電話	岡田 美幸
		佳作	俳句	花に癒さる日々	三澤 正弘
			小説	ひまわりと夏	中村 桃香
				空の乳母車を押す	米川 ちゅちゅ
			児童文学	アンダーソンさんの秘密	こばやし まきこ
				あの日、僕が見た夢	音一
		佳作	詩	無花果はお好き・百花	高橋 宗司
				夢	竹島 沙織
			短歌	しなやかにいく	水門 房子
				万葉集30首への返歌	酒井 里子
			俳句	米寿の記録	月岡 千秋

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第33回	令和2年度	文学賞	小説	最終目的地	近藤 美恵子
			児童文学	虹色の指編み	もり ひかる
			詩	「蝉」「風のプリズム」	鈴木 久吉
			短歌	該当なし	
			俳句	望郷	鎌田 道子
		佳作	小説	星の大地に沈む	高畠 恵
				毛糸の帽子とユキ	宮城 徳子
			児童文学	あしあとがないみち	ときわ きよし
			詩	七夕の出会い	谷口 美奈子
			短歌	金色の輪	福田 大助
第32回	令和元年度	文学賞		夫婦の奥引出し	池田 久雄
			小説	傘寿のほとり	藤井 元基
				国民学校一年生	村田 敏行
			俳句	屋久島から与那国島へ	溝口 浩
				ピースの薰り	宮下 瞳民
		佳作	小説	家族の擬態	矢島 寿子
				児童文学	彼岸過ぎても
			詩	春キャベツの事件簿	袋布 修一
			短歌	梅檀の花	鈴木 悅子
			俳句	花野行く	菊池 ひろ子
第31回	平成30年度	文学賞	小説	小さなミカンの木	鈴木 悅子
				天使はどこにだっている	山下 教江
			児童文学	FIREFLY シークレット・ブランチ・オペレーション！	原 さわ
			詩	石の記憶	市原 とし子
				星の花束	石井 直記
		佳作	短歌	走る夢	山内 秀允
				二つのふるさと	鈴木 純子
			俳句	花菖蒲より冬極まれるまで	藤井 元基
				上高地散策	三澤 正弘
			小説	ハーフムーン	オダ 晓
		文学賞	児童文学	鮫島	大藪 猛
			詩	あなたが言いたかったこと	村山 節子
			短歌	喜寿つれづれ	三澤 正弘
			俳句	住み古りて	杉澤 いづみ
			小説	イルミネーション	近藤 美恵子
		佳作		紀恵さんと蛙	丸山 秀幸
			児童文学	夏の友だち	袋布 修一
				僕はゴキブリ	原 さわ
			詩	あの感動を	川崎 富子
				スパーク	滝口 悅郎
		文学賞	短歌	春・夏に詠う	藤井 元基
				二重丸	松田 佐津子
			俳句	春・夏に詠む	藤井 元基
				この地に生きる	西村 渾

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第30回	平成29年度	文学賞	小説	図書館の天使	野口 絵美
			児童文学	月をめぐるおはなし	北 ゆかり
			詩	該当なし	該当なし
			短歌	山鳩のスイッチ	小曾納 康子
			俳句	東日本大震災	橋 良彦
		佳作	小説	メビウスの迷宮 こちら船山市役所「何でもヤル課」	オダ 晓 梓 勇桂生
			児童文学	兎 たのしい夢	大藪 猛 音野 正譜
			詩	定年のおくりもの 定義 真昼のデッサン 「花の地球」「予感」 楽しみの魔法	橋川 幸子 浅野 竜 オダ 晓 鈴木 悅子 星 花絵
			短歌	秋を詠む 意のままならず	藤井 元基 竹内 敦子
			俳句	夏安居 好日 船橋 ばか面踊り	月岡 千秋 杉澤 いづみ 山岡 英明
第29回	平成28年度	文学賞	小説	鳳仙花	秋野 鈴人
			児童文学	氷の花	小倉 忠志
			詩	暗室	青柳 泉
			短歌	該当なし	該当なし
			俳句	凌霄花	村松 行人
		佳作	小説	まどろむ蝶たち 横断歩道の男	オダ 晓 あおき ゆか
			児童文学	ママの魔法 未熟なトマト	西脇 めい 大野 晴山
			詩	心を解いて 八月二十七日	むらやま せつこ 鈴木 久吉
			短歌	八十の閑 アンデルセン公園の四季讃歌 サファイア婚	長谷 芙水子 松田 佐津子 三澤 正弘
			俳句	春来 俳三昧 きもの細々	藤井 元基 岡戸 良一 栗原 元子
第28回	平成27年度	文学賞	小説	びん・びん	有富 久子
			児童文学	消えた名前	桝本 はるみ
			詩	サンゴの涙	須貝 志げ子
			短歌	去年の花火	秋山 和子
			俳句	旅ごころ	山本 明彦
		佳作	小説	神様に届くジャズ 粉ふき芋とピカタ	鈴木 梨 野口 絵美
			児童文学	私の車掌さん ぼくのユーレイ親友	高橋 めぐる 桜井 真希
			詩	朝食（ある朝の想い）／横断歩道を渡る 私のシルクロード	斎藤 博 柏木 沙智
			短歌	悟空の雲 風に癒されて	川崎 富子 生園 泰子
			俳句	無骨な手 京の夏	村松 行人 小山 宏治

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 2 7 回	平 成 2 6 年 度	文 学 賞	小説	クロい、マニヨンの言葉	平川 慧
			児童文学	クソ星	遠田 誉
			詩	復興への歩み	條川 さくら
			短歌	該当なし	
			俳句	天使の画集	湯浅 康右
		佳 作	小説	先生と僕と青い空	矢島 寿子
				海辺の迷宮	野々宮 斎
			児童文学	シェイ、シェイ	不破 恵美
				メモリー アンド メモリー	櫻井 かのん
			詩	あじのめだま	あおい満月
				終戦69年の我が想いと我が人生	村上 錦二
第 2 6 回	平 成 2 5 年 度	文 学 賞	小説	硝子越しの話	住川 幸
				眠る母	青柳 泉
			短歌	いのち	菅 幸子
				母を看取る	三澤 正弘
			俳句	稻熟るる	杉澤 いづみ
		佳 作		梅雨茫茫	谷川 凉子
			小説	両国橋を渡れば	柚原 良
			児童文学	夏祭り	殿岡 秀秋
			詩	該当なし	
			短歌	心を洗ひ 心を磨く	緒方 宗秋
第 2 5 回	平 成 2 4 年 度	文 学 賞	俳句	該当なし	
			小説	白い猫	近藤 美恵子
				墨絵の人	伊藤 時也
			児童文学	るなとみんなの大切な思い出	桜井 美月
				百ミリおっさん	金子 翔壱
		佳 作	詩	色具合長考いろいろは歌	古城 いつも
				少年と老人	福田 大助
			短歌	夢	渡部 力輝
				癩と明石海人	久多羅木 光子
			俳句	夜の公園	山本 英児
第 2 4 回	平 成 2 3 年 度	文 学 賞	短歌	レクイエムⅡ「七年ののち」	山内 秀允
				母の信念	秋山 和子
			俳句	少年の夢	月岡 千秋
				御菜浦	渡部 節郎
			短歌	浅草辺り	栗原 元子
		佳 作		靈峰富士	小山 宏治
			俳句	ふるさと	山本 明彦
			小説	きみにやさしいその腕を	晩生 みのり
			児童文学	トラブル オン ザ ボーダー	天羽 勝子
			詩	分かれ道	松田 悅子
第 2 3 回	平 成 2 2 年 度	文 学 賞	短歌	白き橋	山崎 啓子
				俳句	酒蔵
			小説	ジャングルジムで待ち合わせ	柄本 はるみ
				聖母の椿	野々宮 斎
			児童文学	あたしは、ここにいるよ！	もり たかみつ
		佳 作		僕らの転校生	脇坂 詩織
			詩	白と赤の記憶	須貝 志げ子
				毎日の散歩	水野 和真
			短歌	温もり	菅 幸子
				周とアン「へいわでいいね」	安楽 嘉子
		俳句	小説	イス紀行	小山 宏治
				挽歌	多喜緑

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 2 4 回	平 成 2 3 年 度	文 学 賞	小説	朱い、みどり	杜尚也
			児童文学	三月初めのお花見	近藤みえこ
			詩	該当なし	
			短歌	挽歌—出理子・永遠に十七歳	大内はる代
			俳句	東欧の旅	実藤公一
		佳 作	小説	梅雨のあわいに飛ぶ	晩生みのり
				ソルティー	田畠稔
			児童文学	普通の僕といんちき自動販売機	村山安志
				てんでんこ	ふるうちようぞう
			詩	シーツを畳む	斎藤博
第 2 3 回	平 成 2 2 年 度	文 学 賞		東北の父よ—東北人讃歌—	福田大助
				兄弟	竹内大貴
				東日本大震災惨禍	長坂孟
				野の仏たちの毎日	小林紀六
			短歌	アットホームつれづれ	狩野ちゑ子
		佳 作		あの日以後	青柳泉
				哀しき春	本宮俊郎
				出羽三山行（蕉翁を偲びて）	小山宏治
				色なき風	金子典子
第 2 2 回	平 成 2 1 年 度	文 学 賞	小説	応援席のピンチヒッター	市川あずま
			児童文学	ピースサイン	山崎道子
			詩	閉まった門扉	岩佐てい子
			短歌	日々を詠む	馬場美恵子
			俳句	喉仏	高田睦子
		佳 作	小説	光の花と僕のヒカリと	上西亜由美
				ミヤマクワガタ	藤本未夏
			児童文学	朝の風の中で	近藤美恵子
				桜頭巾ちゃん	袋布修一
			詩	静物（果実と野菜）	斎藤博
第 2 1 回	平 成 2 0 年 度	文 学 賞		駆け抜ける風	なかちP
			短歌	ばつねんの夏	青柳泉
				星は見えねど	泉澤真佐子
			俳句	四季雜詠	窪田空華
				佐渡の旅	小山宏治
		佳 作	小説	雛人形	山下信子
			児童文学	ぼくの夢	もとまつひさこ
			詩	笑顔の表情	Toshino grafitti
			短歌	日常	永野喬平
			俳句	該当なし	

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 2 1 回	平 成 2 0 年 度	文 学 賞	小説	告白	水門茂夫
			児童文学	Hello, My Dear	三原杏菜
			詩	意固地な会話	宮本俊作
			短歌	参番館のゆめ	田中律子
			俳句	パリの夏	山下良江
		佳 作	小説	はりせんばん	有馬朱夏
				蝉の声	山下信子
			児童文学	かくれんぼ	だんちょう
				忘れ得ぬ少年・少女	市瀬潤子
			詩	つぶつぶ	中田文夫
第 2 0 回	平 成 1 9 年 度	文 学 賞		赤	川瀬杏子
			短歌	安房の海	山崎啓子
				癌体験	遠西通男
			俳句	福寿草（施設で暮した母へ）	浜和佳子
				束縛の無き日々	三澤正弘
		佳 作	小説	犬の記憶	翔我部わたる
			児童文学	智ちゃんときつね	大谷隆介
			詩	該当なし	
			短歌	言葉は光る	三輪恭子
			俳句	該当なし	
第 1 9 回	平 成 1 8 年 度	文 学 賞	小説	ふなばし暮れ景色	厚畠章二
				そうして、歩いていく	丘みすみ
			児童文学	かさ	黒木真吾
				町の大道芸人 オサムとトンマロ	やまこしわたる
			詩	雨	岩佐てい子
		佳 作		ユキノフルヒニ	黒木直子
			短歌	陽射しの中で	斎藤博
				千の風	宮本俊作
			俳句	真夜中のタップダンス	安井正人
				やすらぎ	田中律子
第 1 8 回	平 成 1 7 年 度	文 学 賞	短歌	林檎畠	宮尾清美
			詩	鷗尾の影	長谷川ひさを
				花巡り	清水明子
			俳句	鳳仙花	斎藤杜子
			小説	人形と風船	香春口二
		佳 作	児童文学	花火の夜に	小野敬子
			詩	傘寿の顔	前田英雄
			短歌	アウシュヴィッツから	青野長幸
			俳句	該当なし	
			小説	夜の静寂で	川口あきら

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第18回	平成17年度	文学賞	小説	マグロフック	安井正人
			児童文学	夢のむこうへ	すずきやすえ
			詩	わたし	塩田勢津子
			短歌	冷えた肋骨	岩崎恵
			俳句	私の時間	佐々木秀子
		佳作	小説	月曜日の憂鬱と猫のような彼女	浅井秋
				十七歳の青春	野中雅子
			児童文学	床下に春がきた	高橋建朗
				はぐれた子熊	殿岡秀秋
			詩	米寿を迎え夫	古矢トミ
第17回	平成16年度	文学賞		生きる	狭霧遙
			短歌	虫たちよ	青野長幸
				最後の審判—ミケランジェロ—	猪飼久
			俳句	偕老	細谷鷹生
				校長室	村上勲
		佳作	小説	富士のけぶりの	とのいけちから
			児童文学	ネコ	浅井秋
			詩	夏	塩田長幸
			短歌	幽囚	長谷川ひさを
			俳句	おちこち	片野幸吉
第16回	平成15年度	文学賞	小説	富士道行脚	川尾覚
				サイレント・ルーム	月乃レオナ
			児童文学	日本の木	黒木直子
				私の町の小さな探偵局	泉なお
			詩	父の半生	古矢トミ
		佳作	短歌	桟の木	飯室洋子
				第三樂章	奥田智弘
			俳句	「中学校」	村上勲
		文学賞	小説	ラグーンに映る月	水野文緒
			児童文学	該当なし	
			詩	母の庭	佐々木カツコ
			短歌	該当なし	
			俳句	小鳥来る	高木一恵
		佳作	小説	私の一里塚	川尾覚
				再来日本（ツアライライーベン）	池田重之
			児童文学	ジダンダひめ	梶本はるみ
				325個のリボン	金子翔一
			詩	ユーカリ日記物語	江良有璃子
		佳作		ぼくの場所	近藤美恵子
			短歌	一本のタオル	蘭菜
				映る私	黒木直子
			俳句	人として	高橋五月
				ただしいこどものそだちかた	祥まゆ美

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 1 5 回	平 成 1 4 年 度	文 学 賞	小説	ネオンテトラにさよならを告げ	南崎晶子
			児童文学	お父さんのカビ	宇野光範
			詩	チカラシバのような母	高村晴美
			短歌	該当なし	
			俳句	該当なし	
		佳 作	小説	骨の花	大津貞夫
				コンクリート葬	飯山みつる
			児童文学	忘れない日	齋藤邦衛
				タイフーンむすめ	栢本はるみ
				しょう太のヘソ捕物帖	山田くに恵
第 1 4 回	平 成 1 3 年 度	文 学 賞	詩	カイバル岬	塩田長幸
				いちにちがはじまる	新村知子
			短歌	「胃全摘術」を越えて	奥田智弘
				揺れやまぬ夏	一條美穂子
			俳句	土偶少女	平栗瑞枝
		佳 作		春愁	飯尾婦美代
				吾子よ	高木一惠
			小説	山芋掘り	浅野竜
			児童文学	まりも	藤沢令子
			詩	私が小石を蹴つたら…	布施皆子
第 1 3 回	平 成 1 2 年 度	文 学 賞	短歌	下総薬園	古澤周子
				挽歌	笹原三雄
			小説	夢の背中	山之内真樹子
				加賀谷さんのパンツ	南崎晶子
			児童文学	水のように	殿岡秀秋
		佳 作		とっても大きな木	中田裕之
			詩	鍵	永岩京子
				生きてしまう前に	塩田勢津子
				老いる とは	星野はるか
			短歌	日々想うこと	奥田智弘
		佳 作		鶴岡八幡宮	猪飼久
				隠岐ノート	高木咲耶
				佐保姫	勝見玲子
			小説	幻想校庭の四季	殿岡秀秋
			児童文学	ばたばたまつり	川上美栄子
		文 学 賞	詩	該当なし	
			短歌	秋にかきゆく	加来静
				俳句	喜怒哀楽
			小説	理由（わけ）あって出（で）かけます	南崎晶子
				夕陽	初山のぶ
		佳 作	児童文学	蛍光灯の白い闇	栢本はるみ
				しんちゃんのおまもりぐも	金子和枝
			詩	もう一つの海	佐々木カツコ
				あなたはどこに行きますか？	山部桜
			短歌	喜寿を迎へて	猪飼久
		俳句		風の町	一條美穂子
				聖五月	勝見玲子
				母子草	平栗瑞枝

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 1 2 回	平 成 1 1 年 度	文 学 賞	小説	アンビシャス	木之下実
			児童文学	神サマと私	菱沼啓実
			詩	有蓋貨車	樋川建夫
			短歌	和服仕立て	小梅礼子
			俳句	父の肩	安達千恵子
		佳 作	小説	モグラの日	まきまさき
				言い違い	殿岡秀秋
			児童文学	十二歳の夏が過ぎて 穴うさぎ口ココの冒険	吉種悠希 こんどうみえこ
			詩	少し静かに 地雷のある村に生まれて	久保園英子 高村晴美
				眠る男	松田悦子
第 1 1 回	平 成 1 0 年 度	文 学 賞	短歌	白き胴輪（ハーネス）	古澤周子
			俳句	初声	高木咲耶
				一秒	吉田麗子
			小説	いろはにほへと	齋藤念魚
				恋に似せて	高橋真也子
		佳 作	児童文学	闇夜を走る猫	門田晴美
			詩	唇人間の誕生	殿岡秀秋
			短歌	該当なし	
			俳句	介護も日々	青山正生
			小説	プラットホーム	木村和人
第 1 0 回	平 成 9 年 度	文 学 賞	児童文学	赤い首わ	冴木ゆき
				森の贈り物	大谷隆介
			詩	キス 花火「ハナビ」	星野はるか 鳥越桃太郎
			短歌	四季折々 晩夏まで 雨、そして… 田園 揺れ動く五十歳	河瀬通子 青柳泉 一條美嗟子 清水和江 若松昭子
			俳句	嬉遊 鼻ピアス	平栗瑞枝 安達千恵子
		佳 作	小説	該当なし	
			児童文学	ぼくのゴールデンウィーク	堀江妙子
			詩	該当なし	
			短歌	店を守りて	宮沢安正
			俳句	ひよんの笛	遠山みち子
			小説	制度改正最後という妙な星の下の人生	中島誠一
				トルコ横丁の四季	木村キミ
				重久と幕末の佐倉	石田重一郎
			児童文学	ぐずでのろまのワタルはぼくの宝物	さとうよしこ
				大切なこと	麻生深苗
		佳 作	詩	けんかのあと 母 海老川堤の風に向かって「寂しさ」	鶴田涼子 井上くに子 高尾友維
			短歌	つわの花（老い深みゆく父との日々） 私の秋 八手の花 ピリオド（終止符）	阿倍多恵子 小梅礼子 清水和江 村田三夏
			俳句	アトリエ 母	亀井美奈美 樋口良子

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第9回	平成8年度	文学賞	小説	夢のあとに	中島祥子
			児童文学	天ぐさまと子どもたち	笹川奎治
			詩	行商人（ある男との出会い）	高橋真也子
			短歌	該当なし	
			俳句	山の音	勝田房治
		佳作	小説	木枯らし一号	会田武三
				ふるさとのうた	齋藤念魚
			児童文学	クリスマス・イルミネーション	藤沢令子
				風景画	田実香代子
			詩	今度恋をするのなら	あひるのペキン
第8回	平成7年度	文学賞		タイムトラベル	鈴木愛
				さるすべり	船越達子
				おしおい花	南條けさ枝
				雲のわたあめ	岩佐てい子
			短歌	家族小景	青柳泉
		佳作		スペイン紀行	小嶋和夫
				幻想	梅原文男
				老	梅原ふさゑ
			俳句	春日遅々	平栗瑞枝
				卒哭	柿崎宗一
第7回	平成6年度	文学賞	小説	雪国にて	浜野和子
			児童文学	該当なし	
			詩	弱視児日記	久保田博
			短歌	春夏秋冬	是永れん子
			俳句	該当なし	
		佳作	小説	謙信と臼井城	石田重一郎
				風の吹くままに	船越達子
				夜勤	宮崎和雄
			児童文学	わんぱく親子ーおれと父ちゃんの夏休みー	渡部真行
				アルノーとぼくらのしましま	大庭雛子
		文学賞	詩	にじのほん	度會拓也
				テスト	鹿村有沙
				非常階段	山田隆司
				渡し船	高橋真也子
				青影	矢納猫子
		佳作	短歌	香港駐在	清水早苗
			俳句	春一番	牛島玲子
				水着の視線	吉田麗子
				四季逍遙	平栗瑞枝
				恋のうた	亀井美奈美

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第6回	平成5年度	文学賞	小説	該当なし	
			児童文学	一九六〇年・友だち	浅野竜
			詩	該当なし	
			短歌	該当なし	
			俳句	庭の簞	斎藤厚子
		佳作	小説	A Day in the Life	千野由紀
				デルタの町	吉野実
				ヒグラシになる	因憲一
			児童文学	ひまわり	保坂ちひろ
				分校がるすの日	さとうよしこ
第5回	平成4年度	文学賞	詩	親愛なる私の祖父ーじいやんに捧ぐ	鳥羽礼子
				待合室	影山紫翠
				ブナの森に魅せられて	久保田博
			短歌	蛇の道	石井真也子
				教師	山田隆司
		佳作	短歌	冬の塩	梶家佐代子
				定年以後	坂巻正二郎
			俳句	心象の四季	伊藤杏花
				新木場の匂ひ	佳苑
			小説	該当なし	
第4回	平成3年度	文学賞	児童文学	はがき一枚ください	河相文枝
			詩	虹	徳岡久生
			短歌	庭にて	池上須見
			俳句	村八分	清水公治
		佳作	小説	♪♪リンガスト・ホレ・ホレ・ヒ♪♪	川田由美
				汚物	小川佳世子
				青春回想—戦争末期の予科練—	坂本典也
			児童文学	傘をさした雪だるま	佐藤嘉子
				山のファンタジー—桃子物語—	末次乃里子
		特別賞	詩	帰路	美理洋
				無題	高田滋彥
				ふたりの山	久保田博
			短歌	心日和	紫麗恋
				すべてねこ	鳥羽礼子
		佳作		花	松田悦子
			短歌	秒音	山内しづ子
				出稼	坂光男
			俳句	折に触れて	加藤進
				盆前後	川崎富美子
		文学賞		幻想	池上寿見
			俳句	日々雑唱	飯尾婦美代
			小説	指輪	金昌南
			小説	老人ごっここの終わり	風一作
				自転車	北澤朔
		佳作	児童文学	該当なし	
			詩	尖った唇	桐谷久子
			短歌	該当なし	
			俳句	硯の海	中山皓雪
			小説	青い麦	銀林ゆう子
		児童文学		坂の上まで	宮下優
				あまぐもおばさんなのみだ	河相文枝
				1ねん3くみきになるあいつ	浅野竜
				月夜の船出	福井弘
				ふしぎなほらあな	保坂ちひろ
		詩		少年三題	志賀アヤノ
				自立	林孔人
				もうすこしそこやかだったころ	徳岡久生
			短歌	母のなき里	中村祐子
				花影	加藤良之
		俳句		秋の日	堀小夜子
				霊峰	池上須見
				ヘッドライト	清水公治
				朧	川崎富美子
			俳句	草の花	池上寿見

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第3回	平成2年度	文学賞	小説	トロピカル・ビーチ・レストラン	大野敦子
			児童文学	該当なし	
			詩	該当なし	
			短歌	木下の椅子	田宮妙子
			俳句	鮮烈の虹	塚越としを
		佳作	小説	休日	銀林ゆう子
				黄色いリボン	風一作
			児童文学	おい出せおざしきトド ゆうれい	河相文枝 多部田可奈子
			詩	のこる 冴える 太鼓 花	徳岡久生 桐谷久子 久保田博 寺内勇
			短歌	春野ゆく 木犀匂う 定年前後	梶家佐代子 中村祐子 斎藤勉
			俳句	さみしくて 夕稻架 よく生きてきたね	川崎富美子 中山皓雪 小林秋翠
第2回	平成元年度	文学賞	小説	冬瓜	村尾文
			児童文学	該当なし	
			詩	該当なし	
			短歌	わが日々	高橋万里子
			俳句	葱の穴	久染康子
		佳作	小説	減びの風景 クジラを呼びに行こう	風一作 大野敦子
			児童文学	ウ三郎とオバケのペロペロ ゴルフ場のいたずらギツネ	かこいけん一 大竹幸子
			詩	保育所だより シャッポ	滝口美智子 久保田博
			短歌	船橋春夏秋冬 鳥の来る街 十五歳の不安	山崎俊定 加藤良之 中村祐子
			俳句	葛飾 子ら 郷土史に	滝口美智子 鈴木みどり 樋口ひろし
第1回	昭和63年度	文学賞	小説	該当なし	
			児童文学	どろぼうたぬき	細谷建治
			詩	該当なし	
			短歌	太陽が生きて	内藤美智子
			俳句	沿線ぐらし	小野タケ
		佳作	小説	前を行く影 ベイ 黒い雀	園憲一 大野敦子 龍田文子
			児童文学	先生になったキュピさん ねずみの王国	佐藤嘉子 東条愛
			詩	砂時計	門田晴美
			短歌	清き草はら 二〇二号室にて 船橋と私 喪の一族	山田まさよ 高橋万里子 小林美幸 吉岡イマ子
			俳句	自己紹介 枯仕度 対岸	吉田陽代 清水薰 斎藤英石